

令和6年度

若宮保育園・わかみや分園

事業計画書



社会福祉法人 あじさい会

令和6年度 若宮保育園・わかみや分園 事業計画書

《法人理念》

- 全ての人が幸せになるように願う。

《保育理念》

- 全ての子どもとともに豊かに育つ。

《保育方針》

- 生活リズムを整えながら、戸外遊び、散歩、リズム運動などの健康な身体づくりを進める。
- 四季折々の自然に触れ、実体験を通して、話す、聞く、考える力などを深めていく。
- 大人との信頼関係を土台にしながら、友達と遊ぶことを楽しみ、人とのかかわりを深めていく。
- 全ての子どもが安心して過ごせる保育園作りを目指す。

《保育目標》

- マナー（行儀作法）を身に付けて、挨拶のできる元気な子ども。
- よく食べて、よく遊び、心身ともに健やかな子ども。
- 調整力を高め、丈夫な身体づくりで、いつも元気な子ども。
- 命や物の大切さを知り、思いやりのある素直な子ども。
- 笑顔で、ていねいな言葉遣いのできる明るい子ども。
- 話を理解し、自分で考えて行動し、生活できる子ども。

《保育の特徴》

- ① すこやか対象児を積極的に受け入れて、楽しく活動する中で、共に成長できるようにする。
- ② 年間計画のもとで、体育指導（ラグビーあそび）を取り入れ、丈夫な身体づくりと強い心を育てるとともに、調整力を高めていく。また、友達と協力する力、あきらめない心を育てる。
- ③ 英語あそびを通して、無理なく英語に親しみ、幼児期から国際感覚の基礎を身に付けていく。
- ④ クッキングを取り入れて調理準備、グループ活動、食生活の認識、興味、感謝の心を育て、食育活動を充実させる。
- ⑤ 地元の商店に買い物に行く機会を持ち、地域交流するとともに、社会性を育む。
- ⑥ 散歩を随時行い、探究心、自然環境のうつりかわりを気づかせる。
- ⑦ 若宮公園、駅前公園の掃除を通して、マナーや社会性を育てる。
- ⑧ 姉妹園・あじさいこども園との交流を通して、社会性を育てる。
- ⑨ 「南須磨ふれあいのまちづくり協議会」との交流を通し、公共心や社会性を育てる。
- ⑩ 5歳児は、海での遊泳を体験し、自然のなかで丈夫な身体作りを行う。
- ⑪ 5歳児は、絵画指導を受け、新しい描画の技法を知り、共同制作の楽しさを味わう。
- ⑫ 地域の高齢者との交流が持てる場を設け、地域貢献する。

《保育の内容》

- ① 0・1・2歳児は、発達の過程を十分に理解し、一人ひとりの発達過程に応じて、見通しを持って教育及び保育を行う。また、友達との関わりを知らせていく。
- ② 3・4・5歳児は、年齢の枠を越えて、それぞれの個性を認め合いながら、主体的に活動する力や協調性を身に付けていく。
- ③ 毎週、心身の健康・安全を守るために、清潔指導を行い、保育者が適切にアドバイスや手当てをする。
- ④ コーナー遊びに全力を注ぎ、教材の準備や遊びの工夫を重ねる。
- ⑤ 絵本の読み聞かせや絵本読みを毎日行い、情操や聞く力を養う。
- ⑥ 使っている机や椅子をていねいに拭き、身の回りの清潔管理に気配りをする。
- ⑦ 姉妹園・あじさいこども園との交流を通し、日常と違う子ども達と関わりを持つことで、社会性を育てる。
- ⑧ 給食会議を毎月行い、食育計画を充実させて、心と体を守る食育環境の改善を図る。
- ⑨ 限りある資源を大切に扱う習慣を身に付け、環境について学んでいく。
- ⑩ 幼児は、年間の計画のもと、体育指導を受けるとともに、日常的に、年齢に応じた動きの積み重ねをしていく。
- ⑪ 歌やダンスなどの英語あそびを通して、英語に親しみ、インターナショナルな感覚を身に付けていく。
- ⑫ 5歳児は、絵画指導を受ける中で、様々な技法を体験したり、美しいものに興味や関心を抱けるようにする。
- ⑬ 地域の未就園児親子や高齢者と関わることで、地域に根付いた活動を行う。

《実践計画》

1 地域公益の視点

(1) 地域貢献活動（子育て支援事業の強化）

- ① 「神戸市須磨区社会福祉法人連絡協議会」内での連携強化
- ② 園庭開放、電話相談、ベビーマッサージ等による子育て支援
- ③ 医療的ケア児の受け入れ
- ④ 地域ニーズに応じた一時保育の受け入れ

(2) 地域の学校等との交流

- ① 小学生の「まち探検」受け入れ（若宮小学校・2年生社会科）
- ② 進学前の小学校体験（若宮小学校）
- ③ トライやる・ウィークの受け入れ（鷹取中学校）
- ④ 高校生のワークキャンプ、ボランティア受け入れ
- ⑤ 鷹取中学校生徒の本園幼児とのふれあい体験（2年生家庭科）の受け入れ
- ⑥ 南須磨地域福祉センター、地域密着型通所サービスセンターにおいて、高齢者、障がいを持つ方々との交流（クリスマスに訪問：4・5歳児）
- ⑦ 関係の園、小学校、行政機関、医療機関等との連携（情報交換、協力）

(3) 地域行事への参加

- ① 近隣の公園で清掃活動（5歳児）
- ② 乳幼児子育て応援事業の実施

2 財務の視点

(1) 財務規律の強化（支出の計画的管理等）

- ・ 職員の節約意識を高める（物品の節約・リサイクル使用、低価格な同等品を購入等）

(2) 建物・設備等の経年劣化や環境変化に対応した維持管理

- ・ 近隣の公園で清掃活動（5歳児）
- ・ 遊具の点検・補修等

(3) 必要な器具・備品の購入等

- ・ 器具・備品等の経年劣化、損耗等による適切な買い替え、補修等

(4) 消耗費等物品の計画的購入

- ・ 消耗品の購入頻度を明確化

3 顧客の視点

(1) 積極的な情報発信・提供による事業の透明性確保

- ・ HP等での積極的な情報発信・提供

(2) 保護者との交流・情報交換の強化

- ① 利用者アンケート（行事や意思疎通への評価等について：令和5年3月実施）の結果集約等
- ② 保育参観・給食参観・保育参加の実施
- ③ 保護者と個別相談の実施
- ④ 保護者懇談会の実施
- ⑤ コドモンの利用拡大（「保育連絡票」・「出欠連絡票」のペーパーレス化）

(3) 園児の安全確保

- ① 防災対策の充実（グッズの見直し等）
- ② ヒヤリハット記録の活用による事故の未然防止・再発防止（職員が毎日目通し）

4 業務プロセスの視点

(1) コンプライアンス（法令遵守）の徹底

- ① 児童福祉法ほか関係法令の遵守
- ② 法人理念、保育理念、「就業規則」ほか各種規程の周知
- ③ ハラスメント被害にかかる「意見箱」の設置・運用（4月～職員からの通報への相談対応）
（労働施策総合推進法の改正、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法への対応）

(2) 虐待防止の徹底

- ・ 職員会議、勉強会等で、職員間の意識共有

(3) 人材育成の強化

- ・ 園内及び外部研修の受講促進（キャリアパス）による中堅職員・リーダーの育成

(4) 計画的な人材確保

- ① 実習生の受け入れ等、養成校との連携強化による人材確保
- ② 「ほいコレ就職フェア」等にブース出展（神戸、大阪）

5 学習と成長の視点

(1) 法人理念、保育理念等の周知

- ・ 職員会議、勉強会等で職員間の意識共有

(2) 風通しのよい組織づくり

- ・ 「報告・連絡・相談」の徹底

(3) 研修等による職員の資質向上

- ① 外部講師を招いての園内研修を実施
- ② 姉妹園：あじさいこども園と研究保育を共同実施

(4) 第三者評価の受審とそれに向けての態勢整備・事後対応

- ・ 各種マニュアルの見直し、周知のための会議開催

《施設運営》

1 児童の処遇

(1) クラス編成

| 区分 | クラス名 | 園児の年齢 | 保育教諭数（人） | | | 園児数（人） | 備考 |
|----|------|-------|----------|-------|----|--------|----------------------------|
| | | | 正規職員 | 非正規職員 | 合計 | 2, 3号 | |
| 分園 | らっこ | 0歳 | 2 | 0 | 2 | 6 | 乳児 33名 |
| | ぺんぎん | 1歳 | 2 | 1 | 3 | 12 | |
| | いるか | 2歳 | 2 | 1 | 3 | 15 | |
| 本園 | ほし | 3歳 | 2 | 1 | 3 | 18 | 幼児 43名 （すこやか児 4名を含む） |
| | そら | 4歳 | 2 | 0 | 2 | 15 | |
| | にじ | 5歳 | 1 | 1 | 2 | 10 | |
| | フリー | | 2 | 4 | 6 | — | 主任保育士、 すこやかを含む |
| | 合計 | | 13 | 8 | 21 | 76 | |

(2) 月別保育日数

(単位：日)

| | | | | | | |
|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 合計 |
| 25 | 24 | 25 | 26 | 26 | 23 | |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 293 |
| 26 | 24 | 24 | 23 | 22 | 25 | |

(3) 園児の健康管理

- ・ 内科検診（6月・1月） 大石 敬子 医師
- ・ 歯科検診（6月・11月） 大森 昭輝 医師（11月は4・5歳児対象）
- ・ 眼科検診（1月） 中村 好彦 医師（4・5歳児対象）
- ・ 耳鼻咽喉科検診（11月） 稲守 真璃 医師（4・5歳児対象）
- ・ 尿検査（6月） 兵庫県予防医学協会
- ・ 身体測定（月1回） 各クラス担任による（4月・10月は胸囲測定も行う）。
- ・ その他 …… シーツ交換（隔週1回） フラッシュ株式会社

(4) 保育（各クラスの保育目標）

らっこ組（0歳児）

A 保育士が子どもに望む姿

- ・ 個々の生活リズムの中、特定の保育者と、落ち着いた環境で安心して過ごす。
- ・ 生理的欲求や甘えを受け止めてもらい、機嫌よく過ごす。
- ・ 喃語や片言を受け止めてもらい、発語や保育者とのやりとりを楽しむ。

B 保育士の子どもへの関わり方

- ・ 保健的で安全な環境を整え、健康状態の観察をていねいに行い、病気や異変の早期発見に努

め、快適に生活できるようにする。

- ・ 一人ひとりの子どもにゆったりと関わり、生理的欲求を満たし、甘えなどの欲求を受け止めたりして、情緒的に安定して過ごせるようにする。
- ・ 離乳の完成と歩行の確立を目指し、一人ひとりの発達に合った保育を進める。
- ・ 優しく語りかけたり歌ったりして、コミュニケーションを図り、発語の意欲を育てる。

ぺんぎん組（1歳児）

A 保育士が子どもに望む姿

- ・ 保育者との関わりを通して、保育者に親しみをもち、素直に感情を表出して、機嫌よく過ごす。
- ・ 保育者と関わる中で、片言を受け止めてもらい、要求や自分の気持ちを、進んで伝えようとする。
- ・ 身の回りのことなどに興味が出てきて、自分でしようとする。

B 保育士の子どもへの関わり方

- ・ 個々の状態に応じた関わりをする中で、生理的欲求や依存的欲求を満たし、安心して生活できるようにする。
- ・ 季節の歌や親しみのある歌を歌ったり、手遊びをする中で、子ども達が楽しく過ごせる環境を作る。
- ・ 子どもの欲求を言葉で返すなど、言葉を引き出すような言葉がけをし、発語の意欲を育てる。
- ・ ゆとりを持って見守り、励ましながら、自分で身の回りのことができた満足感を味わえるようにする。
- ・ 一人ひとりの思いを受け止め、温かな雰囲気の中で安心して過ごせるようにする。

いるか組（2歳児）

A 保育士が子どもに望む姿

- ・ 保育者に見守られながら、簡単な身の回りの始末を、自信を持ってしようとする。
- ・ 遊びの中で、またぐ・くぐる・走る・よじ登る・押すなどの全身を使う動きや、つまむ・丸める・めくるなど、手や指を使うことを楽しむ。
- ・ 見たて遊びや、「～のつもり」・「～のふり」をすることを楽しみ、簡単なごっこ遊びの中で、自分のしたいこと、してほしいことを言葉にする。
- ・ スプーンやフォークを持って、楽しい雰囲気の中で、意欲的に食べようとする。

B 保育士の子どもへの関わり方

- ・ 自分のできることを獲得しようとする気持ちを大切に受け止め、見守ったり、必要な時は助言や介助をしたりし、達成感を持てるようにする。
- ・ 全身や指先を使った運動を、保育者や友達と楽しみながら、基本的な運動機能の発達を促す。
- ・ ごっこ遊びなどを楽しめるように、環境を適切に構成し、友達と思いを共有したり、言葉のやりとりを楽しめるようにする。
- ・ 食事は、負担なく食べられる量に加減をしたり、優しく声かけをして、食べることに意欲を持てるようにする。
- ・ 一人ひとりの思いを受け止め、温かな雰囲気の中でゆったりと関わる。

ほし組（3歳児）

A 保育士が子どもに望む姿

- ・ 生活に必要な基本的な生活習慣が自立する。
- ・ 友達と場を共有して過ごす中で、決まりの大切さに気付き、守ろうとする。
- ・ 自分の回りの様々なことに興味や関心を持ち、生き生きと意欲的に過ごす。

B 保育士の子どもへの関わり方

- ・ 一人ひとりの子どもの思いに寄り添い、安心して過ごせるよう見守っていく。
- ・ 生活に必要な習慣が身に付き、自分でできることを喜びながら過ごす姿を、大切に見守り、主体性を育む。
- ・ 保育者や友達との関わりの中で遊ぶ楽しさを十分に味わえるようにし、思いやりや優しさの心を育んでいく。
- ・ 豊かな経験を通して、自分の思いを、言葉や様々な方法で表現していく姿を認め、社会性を育てる。

そら組（4歳児）

A 保育士が子どもに望む姿

- ・ 友達と一緒に、遊びのイメージを共有しながら活動する楽しさを味わう。
- ・ 生活や遊びの中で、約束や決まりの大切さに気付き、守ろうとする。
- ・ 全身のバランスをとる能力が発達し、身体の動きがよくなる。

B 保育士の子どもへの関わり方

- ・ 友達との遊びを通して、自分の気持ちを相手に伝えたり、話を聞いたりして、相手の思いに気付き、共に活動する楽しさを味わえるようにする。
- ・ 友達との遊びを通して、生活の決まりや遊びのルールの大切さに気付けるようにする。
- ・ 自己を十分に発揮し、いろいろな活動や遊びに積極的に取り組む中で、主体的に遊びに関われるようにする。
- ・ 子どもの主体性を尊重し、安心感を持って物事に挑戦できるように、温かい目で見守る。

にじ組（5歳児）

A 保育士が子どもに望む姿

- ・ 喜んで運動遊びをしたり、目的に向かって、友達と一緒に行動する。
- ・ 就学への期待を膨らませ、自信を持って生活する。
- ・ 自分の思いや考えを伝えたり、相手の話を聞く力を身に付け、互いの気持ちに気付く。
- ・ 絵本や、からだカード等から、からだの大切さを知る。
- ・ 感染症について学び、積極的にうがいや手洗い等の、自分でできる感染症対策を行う。
- ・ 地域に興味・関心を持ち、交流することを学ぶ。
- ・ 生活のあらゆる場面で、自分たちにできることに意欲的に取り組む。

B 保育士の子どもへの関わり方

- ・ 園生活を楽しみ、何事にも興味を抱き、色々な遊びを活発に行うなかで、最後までやり遂げようとする意欲を育てる。
- ・ 子どもの話を十分に受け止め、伝え合うことや、協力し合うことの喜びを感じられるようにする。

- ・ 絵本や、からだカード等を用い、身体の大切さを知り、自分の身を守る心を育てる。
- ・ 理解しやすく必要な感染症対策について伝え、子ども達と共に取り組めるようにする。
- ・ 自信を持って就学できるよう、目標や見通しを持って行動しようとする子ども達の姿を見守り、必要に応じて援助し、達成感を味わえるようにする。
- ・ クラスの友達や異年齢児との関わりのなかで、思いやりの心が育ち、協力する態度を身に付けて生活できるようにする。
- ・ 自然や身近な事象との関わりのなかで、感性を豊かにし、表現することの楽しさや喜びを感じられるようにする。
- ・ 子ども達が主体的に動けるように見守り、意欲を引き出していく。

(5) 年間行事予定

| 時期 | 主 な 行 事 |
|----------|---|
| 4月 | 入園・進級式 |
| 5月 | こどもの日・こいのぼり、ファミリーデー、春の遠足、さつまいも苗植え（あじさいこども園交流会）、地域介護福祉施設訪問 |
| 6月 | 青少年科学館、内科健診、歯科健診、尿検査、保育参加 |
| 7月 | プール開き、七夕の会、保育参加、お楽しみ会 |
| 8月 | 水遊び、プール遊び、夏祭り、同園会 |
| 9月 | お月見の会、高齢者施設訪問、地域敬老の集い |
| 10月 | 開園記念日、秋の遠足、運動会、5歳児交流会 |
| 11月 | 須磨・垂水ブロック事業、kobeっこラグビー大会、歯科健診、耳鼻科検診 |
| 12月 | クリスマス会、地域クリスマス会、地域ふれあい昔あそびの会 |
| 1月 | 眼科健診、よいこのつどい、シェイクアウト訓練、内科健診 |
| 2月 | 豆まき、保育参観・給食参観、発表会、懇談会 |
| 3月 | 小学校交流会、ひなまつり、お別れ会、卒園式、お別れ遠足、終了式 |
| 月例 行事 | お誕生会・おはなしの会、なかよしの会（乳幼児交流）、防犯訓練、 防災消火避難訓練、ぱくぱく教室（食育）、絵本の会（地域） |

(6) 園児の栄養管理

- ・ 集団給食施設栄養報告
- ・ 献立表の作成
- ・ 給食供給者としての諸管理

(7) 園児の安全管理

- ・ 災害時の避難訓練
- ・ 危機管理園内研修
- ・ 感染症、感染対策、食中毒予防
- ・ 虐待防止チェック

(8) 感染症対策

- ・ 新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策に努める。

(9) 苦情解決制度

- ・ 苦情解決責任者 園長
- ・ 苦情受付担当者 主任保育士、各クラス担任

2 職員の処遇

(1) 職員構成

(単位：人)

| | | | | |
|-------|-------|------|--------|------|
| 園長 | 主任保育士 | 保育士 | 非常勤保育士 | 保育補助 |
| 1 | 1 | 12 | 8 | 1 |
| 管理栄養士 | 調理師 | 調理補助 | 看護師 | 合計 |
| 1 | 2 | 1 | 2 | 29 |

(2) 事務分担

① 会計事務・管理事務

- ・ 経理事務全般
- ・ 委託費及び補助金申請に関わる事務全般
- ・ 接客事務全般

② 児童処遇事務

- ・ 各種書類の作成・記録・管理
- ・ 福祉事務所との入所・退所等の手続及び書類の管理

③ 遊具等の点検

④ 建物等の設備点検

(3) 職員の健康管理

- ・ 健康診断（年1回）
- ・ 検便（月1回）
※ 6月～10月は月2回……日本食品エコロジー研究所（調理員及び乳児担当主任ほか）
- ・ ノロウイルス検便（年1回）
※ 12月……日本食品エコロジー研究所（調理員対象）

(4) 職員会議

- ・ 職員会議、リーダー会議、給食会議
- ・ その他必要に応じて開催

(5) 研修計画

- ・ 新任研修、主任研修、調理研修、保育士研修
- ・ 全国私立保育園研究大会
- ・ 近畿ブロック保育研究集会
- ・ 衛生講習会、救急安全講習会、防火管理講習会
- ・ 食生活フェア
- ・ 保育総合研修会

- ・ 障害児研修
- ・ 園内研修
- ・ 園内研究保育
- ・ 法人内研究保育
- ・ キャリアアップ研修
- ・ その他の研修

(6) 退職共済・福利厚生

- ・ 独立行政法人 福祉医療機構の運営する「社会福祉施設職員退職手当共済事業」に加入
- ・ 公益社団法人 神戸市私立保育園連盟の「保育園職員福利厚生事業」を利用

3 施設管理

(1) 設備関係

- ① 建物・設備等の点検
- ② 遊具等の点検
- ③ AED機器等の点検

(2) 災害対策

- ① 避難訓練等
 - ・ 避難消火訓練、地震に対する訓練、津波に対する訓練
 - ・ シェイクアウト訓練
 - ※ ひょうご防災ネットからスマホに一斉発信される「訓練：地震発生」の音に合わせて、すぐその場で、「3つの安全行動（まず低く、頭を守り、動かない）」の姿勢を取る訓練
 - ・ 内水はん濫（大量の雨水が排水できず洪水になること）に対する訓練
 - ・ 侵入不審者への対応訓練
- ② 防災設備の点検
- ③ 非常食料の備蓄（缶詰・菓子類・飲料水）

4 地域社会との連携

- ・ 主任児童委員・小学校・中学校・警察・消防署ほか関係機関との連携を図る。
- ・ 「神戸市須磨区社会福祉法人連絡協議会」内での連携強化（ほっとかへんネット須磨）
- ・ 交通安全教室
- ・ 児童館・高齢者施設との交流
- ・ 須磨区内5歳児交流会への参加
- ・ 若宮小学校訪問、交流
- ・ 幼保小連絡会、保育所児童保育要録の送付
- ・ トライやる・ウィーク、ワークキャンプの受け入れ
- ・ 実習生・ボランティアの受け入れ
- ・ 鷹取中学校「ふれあい体験活動」
- ・ 地域の子育て支援
- ・ 園庭開放、乳幼児応援事業（週2回／年96回）
- ・ 南須磨ふれあいのまちづくり協議会・職員合同AED研修
- ・ 須磨区地域協働課との連携活動